

地域包括支援センターによる 地域ケア会議等の取り組み状況

1 平成29年度の状況

センター名	実施回数	主な内容等
ふれあいの里	19	<p>【啓成地区】 地域に組織されている福祉関係諸団体を連携させた地域ケア会議の開催に向け、検討会を開催した。</p> <p>【車尾地区】 地域福祉や防災活動を協議する「支え愛連絡会」に参加し、ささえあいマップを活用した見守り活動や、災害時の避難困難者の支援について協議した。</p> <p>【福生東】 地区の地域福祉推進委員会に参加し、住民意識アンケート結果に基づく地区内の現状把握、問題の抽出と課題の確認、整理を行った。高齢者に関しては、サロン活動の強化、地域貢献活動を通じた生きがい対策、閉じこもり対策等を盛り込んだ地区活動計画の策定に参画した。</p> <p>【福生西】 地区の地域福祉推進委員会に参加し、地区内の現状把握、問題の抽出と課題の確認、整理を行った。高齢者に関しては、サロン活動の充実、介護予防活動や健康講座等を活用した健康寿命の延伸、特殊詐欺被害防止等を盛り込んだ地区活動計画の策定に参画した。</p>
義方・湊山	1	<p>義方地区をモデルとし、介護サービス利用中の5名について、具体的な事例を挙げ、医師とハビリ専門3職種の指導・助言本人を得ながら自立支援に資する会議を実施。利用者の生活状況を通して地域課題の抽出を行った。</p>
住吉・加茂	9	<p>【住吉地区】 同一法人の介護老人福祉施設と「地域で一緒に暮らそう会」を共催し、地域で取り組む災害時の高齢者支援、独居高齢者への見守り支援、認知症高齢者に寄り添った支援等について、グループワークで議論した。</p> <p>【加茂地区】 地域ケア会議開催に向けた準備会を実施。地域包括ケアシステムの構築を通じた地域づくりの重要性を認識する機会となった。地域の高齢者に対する困りごとのアンケート、独居高齢者の緊急時の連絡先の把握、災害時の避難支援方法等について議論した。</p>

		<p>【河崎地区】 地区自治連が主催し、地区内の社福法人が支援して開催された地域ケア会議に参加。地区内では、独居高齢者への声かけ訪問が活発なほか、地域づくり・高齢者支援検討の手段として自治会毎のミニケア会議を実施・計画する意識が高まっているとの報告があり、次年度以降もセンターの積極的な関わりを確認した。</p>
尚 徳	8	<p>地域ケア個別会議を実施した。地域において、重点的に支援が必要な高齢者について、医療・介護関係者に加え、警察や自治会長、民生委員、近隣住民、親族等が参加して課題の解決策を検討した。特に、認知症に起因する危険・迷惑行為、自己放任、閉じこもり、ペットの過剰飼育等が地域課題として浮き彫りになってきており、次年度以降、地区全体のケア会議で取り上げることにした。</p>
弓 浜	11	<p>【和田地区】 センターの支援で立ち上がったケア会議は、今年度は2か月に一度の頻度で開催し、地域に定着した。認知症行方不明者対応組織の確立や、サロン、オレンジカフェ、買い物ハビリの活用等、現在の地域の動きに合わせた話し合いの場となった。会議をきっかけに、地区の良さや強みを再認識した。</p> <p>【大篠津地区】 ケア会議の準備会を開催。会議の意義や、高齢者を取り巻く現状、身近な問題、地域資源について情報共有するとともに、会議の運営方法を確認した。</p>
箕蚊屋	8	<p>担当する4地区において、「支え愛マップ」を中心とした地域づくりをテーマに開催し、抱えている課題の共有と、マップの新規作成・整備・活用等について議論した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に支援の必要な人を巻き込み、意見を取り入れたマップの作成 ・自治会の班を単位としたマップの作成 ・マップ作成の過程を通じた地域内の交流 ・個人情報への壁 ・マップの形骸化の懸念 ・マップの管理体制、引き継ぎ ・自治会未加入者との信頼関係の構築
淀 江	4	<p>高齢者を支える地域資源と認知症をテーマに、淀江地区の全体会と、旧淀江町の生活圏域である淀江・宇田川・大和それぞれの地区で開催。介護事業者、民生委員、在宅福祉委員の関係を構築した。地域包括ケアの考え方や認知症高齢者への理解、介護予防への意識向上等について検討した。</p>

2 平成30年度の計画

センター名	予定回数	主な内容等
ふれあいの里	12	啓成地区での実施に向けた地区関係者との協議、車尾地区の支え愛連絡会への関わり、福生地区の地域福祉活動計画の実行に伴う推進委員会への提案・助言を行う。福米地区は、医療・介護の専門職と地域活動団体との連携の在り方を検討していく。
義方・湊山	4	リハビリ専門職の指導・助言を得ながら、自立支援型の地域ケア会議に取り組む。
住吉・加茂	6	加茂地区において、地域課題をテーマとした会議の開催に向けて取り組む。河崎地区では、地域主体の地域ケア会議に引き続き関わるとともに、自治会単位での小規模なケア会議を支援していく。住吉地区は、引き続き同一法人の施設と「地域で一緒に暮らそう会」を共催する。
尚徳	8	地域ケア個別会議を随時開催し、専門多職種と地域住民が課題の解決・改善策を検討する。浮き彫りとなった課題は地区全体の地域ケア会議で共有し、地域の高齢者支援策に繋げていく。
弓浜	11	和田地区との共催を継続し、内容の充実を図っていくとともに、大篠津地区での初の開催に取り組む。他の地区については、地域ケア会議を通じた地域づくりの必要性を説明し、身近なテーマにより今後の開催を働きかける。
箕蚊屋	7	引き続き、担当している全地区で開催予定。統一した主要テーマを決めて取り組む。
淀江	4	昨年度に引き続き、担当している全地区で開催予定。各自治会長や在宅福祉委員等、住民レベルの参加を一層促進していく。

※ここで実施・予定回数を示している「地域ケア会議」は、医療・介護・福祉等の専門職のみで構成される個別のケース会議を除き、各公民館地区や日常生活圏域（中学校地区単位）、自治会等において、地域関係者や多職種の参加により高齢者を取り巻く現状等を話し合い、課題の解決・改善に向けて開催した会議をいう。地域で開催される地域福祉に資する会議の共催・支援、計画等への参画も含む。